



手作りのお味噌に興味深々

えさし わが家のお味噌はどんな味？ えさし郷土文化館「味噌づくり体験」

体験教室「味噌づくり体験」が3月27日、えさし郷土文化館で開催されました。同館インストラクターの佐々木エイコさん(79)が講師を務め、12人が参加。大豆を臼ときねで潰す昔ながらの手法で、約1.5kgの自家製味噌を仕込みました。味噌は参加者が持ち帰り、食べ頃となる11月ごろまでじっくり発酵させます。江刺区玉里の菊池恵美子さん(61)は「お店よりも自分で作ったものの方がおいしいかなと思って参加した。出来栄に期待したい」と笑顔を見せました。

みずさわ 若者たちよ世界へ羽ばたけ 渡嘉敷勝男講演会

渡嘉敷勝男講演会(市国際交流協会主催)が3月29日、市まちなか交流館で開催されました。元WBA世界ライトフライ級チャンピオンを一目見ようと、約50人が来場。ボクシングで世界を目指したきっかけなど、ユーモアあふれる渡嘉敷さんの話に聞き入っていました。講演の後、フリータレントTama(青木環実)さんとのトークショーを行った渡嘉敷さん。アフリカで井戸を掘る支援に携わった話にも触れ、知られざる一面に来場者は関心を寄せていました。



来場者に質問を投げかけ笑いを誘う渡嘉敷さん



白鳥川の川床で原子内さんから足跡化石の説明を聞く参加者

まえずわ 足跡化石を見つけてみよう ゾウ足跡化石観察会

牛の博物館はゾウ足跡化石観察会を3月28日、前沢区の白鳥川周辺で開催しました。川の周辺を散策しながら行った同観察会に、親子連れなど26人が参加。亜炭坑の観察や原子内貢さんと阿部恵彦さんの両講師による地層や化石発見地の説明に耳を傾けました。「化石に興味があり参加した」という水沢区真城の小島絵美さん(30)は「足跡化石の説明が分かりやすく、すぐに見付けることができたね」と共に参加した3人の娘に語り掛けていました。



ジャグリングはどんどん玉の数を増やして挑戦

みずさわ スポーツ始めるきっかけに 第3回スポーツフェスティバル in 奥州

NPO法人シチズンスポーツ奥州(佐藤訓文理事長)主催の「第3回スポーツフェスティバル in 奥州」が3月14日、市総合体育館(Zアリーナ)を会場に行われました。さまざまなスポーツを体験してもらおうと企画された同事業に、市内外から約150人が参加しました。3回目の開催となった今回は、ジャグリングやけん玉、ティラピスなどの室内種目を実施。ジャグリングを体験した近藤楓子さん(11)は「難しかったけど、できるようになると楽しい」と笑顔を見せていました。

みずさわ 地元の思いが届き 30 周年 東北新幹線水沢江刺駅開業30周年記念式典



開業 30 周年を記念してのくす玉割り

東北新幹線水沢江刺駅は、ことし開業30周年を迎えました。これを記念して3月14日、同駅西口広場を会場に開業30周年記念式典(羽田地区振興会、同駅主催)が行われました。記念式典では、羽田小2年の佐藤琢磨君(8)と後藤伽奈さん(8)に「子ども1日駅長」の辞令を交付。ホームでやまびこ号に合図を送り、新幹線の出発を見送りました。その後行われた記念イベントでは、同校スクールバンドの演奏や伊藤流行山鹿踊保存会、江刺43歳年代連興承会の演舞のほか、羽田42歳厄年連虎の介による「羽田ふるさと音頭」が披露され、30周年の節目を祝いました。同駅の五十嵐恵一駅長は「地元の思いが詰まった駅なので、未来につながる駅づくりをしていきたい」と誓いました。

いさわ 初々しい演奏に 100 点満点 奥州ジュニアオーケストラスクール演奏発表会

奥州ジュニアオーケストラスクールの第4回演奏発表会(NPO法人胆沢文化会館自主事業協会主催)が3月15日、胆沢文化創造センターで開催され、小学生から高校生までの受講生31人が1年間の練習の成果を堂々と披露しました。「ようかい体操第一」や「カノン」など4曲では、ゲストのバイオリニスト・吉田爽子さんや、いわてフィルハーモニーオーケストラと共演。広いホールは、子どもたちが奏でるかわいらしい音色に包まれました。



大きな舞台に緊張の面持ち。上手に演奏できました

みずさわ 鋳物屋台が届ける奥州の春 羽田町火防祭

奥州に春の訪れを伝える羽田町火防祭(同実行委員会主催)が3月29日、羽田町本町通りを会場に開催されました。昭和初期の大火が起源とされる同祭り。この日は朝から好天に恵まれ、親子連れなど多くの人が鋳物のまちを訪れました。樽みこし巡行を皮切りに、防火パレードや鋳物太鼓演奏など多彩な催しを実施。33歳厄年連亥武伝が先導する鋳物屋台では、艶やかな衣装を身にまとった子どもたちが、沿道の見物客を魅了しました。



鋳物屋台の先導で木遣りあげる亥武伝